

Bank of the Ryukyus' Okinawan Economic Review

# りゅうぎん調査

No.480  
2009

# 10月



■ 経営トップに聞く

久建工業株式会社

■ An Entrepreneur

株式会社カルティベート

■ 寄稿

バックキャストिंगの発想

■ 特集

沖縄県内における

2008年-09年シーズンのbjリーグ経済効果

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所

RRI  
No.039





開(比嘉)梨香 社長

### 事業概要

- 会社名 (株)カルティベイト  
(人と職場と地域の活性化を応援するコンサルタント会社)
- 電話 098-868-3856
- URL <http://cultivate-inc.jp>
- 所在地 沖縄県那覇市天久1-21-10
- 設立 2000年(平成12年)2月

## 株式会社カルティベイト

### トピックス

1. 地域づくりや人づくりを通じて沖縄の活性化をお手伝い。
2. 各種ツーリズムやコンベンションの推進、特産品の開発、IT活用促進などを中心に事業展開中。

### ① 起業への道のり

当社は、「なんでもプロデューサー」の私(開社長)率いる「なんでもお助け隊™」が地域振興をお手伝いするという、ちょっと変わったコンサル会社です。

起業のきっかけは、(株)沖縄ノムラ(株)乃村工芸社の現地法人、1994年~1999年代表取締役専務)時代に、県内13の文化施設づくりに携わったことです。仕事を通じて、沖縄の自然や歴史、文化のすばらしさに触れ、伝えたい残したいという思いが強くなった矢先に出会ったのが、エコツーリズムでした。環境庁(当時)が日本にエコツーリズムを導入するためのモデル事業を、西表島で実施していた10数年前のことです。西表野生生物保護センター展示工事をご縁で、エコツーリズムの理念や手法を学び、兼高かおる会長

の下で日本エコツーリズム協会の発足や、沖縄での普及啓発に関わらせていただいたのですから、まさに運命に感謝です。

エコツーリズムの狙いは、地域の自然や歴史、文化などの宝を資源に、地域の人たちが体験プログラムや特産品等を開発・販売することによって、地域経済を活性化することです。ですから、地域の宝が失われないような配慮が大切です。また、訪れる人には、そこにしかない自然や生活文化、人と触れ合う喜びをもたらし、地域の人には地元に対する誇りや愛情をもたらすという効果もあるんです。私は、それらを具現化するお手伝いをしたいと、新会社を立ち上げ、10週年を迎えたところです。

### ② 起業時の苦労等

地域振興はハードと違って形が見えないうえに、関わる人次第というところが難しいですね。地域の意識づくりや、体験プログラムや特産品などの商品づくり、人づくり、しくみづくり、情報発信などを段階的に行うのですが、当

時は、それをやる意味や私たちの役割をわかってもらうにもひと苦労でした。エコやグリーンなど各種ツーリズムが盛んになった今でも「お宅はいったい何で食べているの?」とよく聞かれます。でも、当時は競合する会社もなかったのが、芽だし事業のほとんどに関わらせていただきました。西表島、東村、国頭村、大宜見村、竹富島、宮古島、座間味村などがそうです。最近では、南城市、粟国村、北大東村、伊江村、伊平屋村や本部の水納島などです。

### ③ セールス・アピール

#### ■ 小さな成功体験が重要

まずは、地域の中心メンバーが課題を共有し、将来像を描くことで、みんなの心を合わせていくことが大切だと思っています。当社では、ファシリテーターとして高い評判をいただいている取締役・平井のワークショップで、何度も心合わせをします。そして、必要な専門家の知恵を借りながら、すぐできることをみんなで見つけます。講習会だけでは何も生まれませんから、実践の場づくりに知恵を出し合います。身近な目標を掲げ、それを達成する喜びを味わう「小さな成功体験」って、次のやる気につながりますよね。その繰り返し



ぶち離島フェアの様子

しです。昨年はゆいレール県庁前駅構内で「ぶち離島フェア」を開催し、その年に各離島で開発した特産品を販売してもらいました。

苦労して開発した特産品が完売し、新たな取引に結びついたことでみんな大喜び。じゃあ、今度は…ってアイデアも湧いて。その後もみなさん意欲的に動いていますよ。

#### ■ 地域の資源を再発見、ガイドブックに編集

素晴らしい自然や文化でも、地元で毎日目に見ていると、その良さに気づかないものです。外の目、専門家の目を入れることで、価値を確認できますよね。



粟国島および西表島のガイドブック

#### ■ 体験滞在交流事業により地域が輝き、子どもたちが輝く

体験や交流は双方向。相互に喜びが生まれ、互いに気づきがあります。沖縄の各地で、修学旅行に訪れた子どもたちの目が輝きだし、不登校の子や生きる勇気を失っていた子が元気になったという声が届いているのですから、すごいことですよ。



離島活性化専門家派遣事業の様

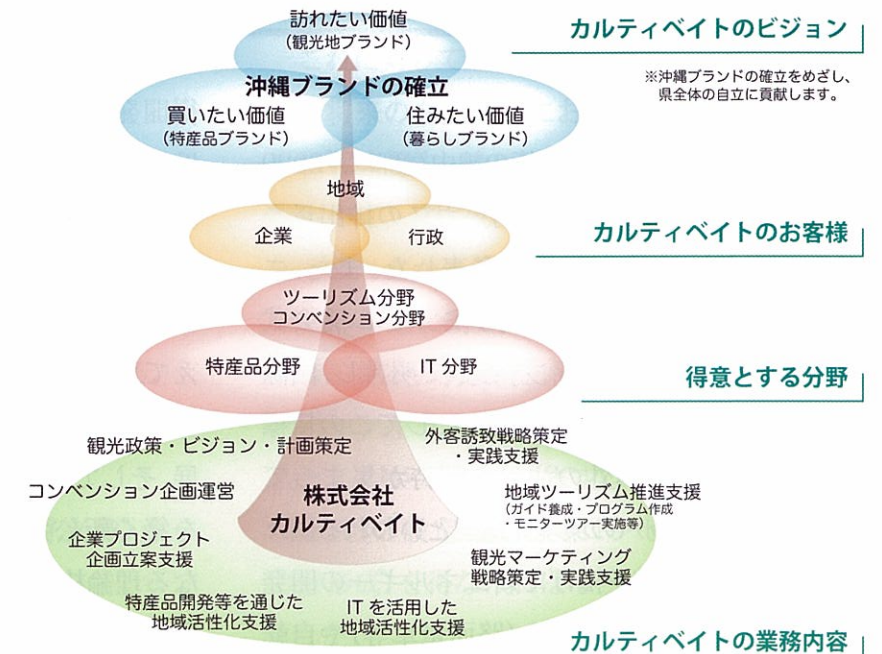
#### ■ 「なんでもお助け隊™」が地域振興のお手伝いをします

県内各地、全国にまたがるプレーン集団がわが社の財産です。でも、主役は沖縄、そして地元の人。プロの知恵を借りながら、自らの手で商品やシステムをつくることで、地域が自立できるように、私たち「なんでもお助け隊™」は、いつでもどこでも出動します。



事務局として企画・運営に携わった「エコツーリズム国際大会・沖縄」の様

### 一人ひとりの自立、地域の自立! 地域や職場の活性化! そして、沖縄の自立!



#### ■ アイデアで勝負!

2009年度、全国公募の「地方の元気再生事業」に、北大東島活性化企画を提案、採択されました。全国980件余から191件という狭き門でしたが、全国8つのモデル地域として内閣府HPに掲載されています。うれしかったです。コンペで委託先を決めるわけですから、アイデアが勝負です。地域への密着度、地域を元気にしたいという思い、そして志を同じくする仲間が各分野にいるという

強みとたくさんの経験が、アイデアと実行力を生み、着実な成果をもたらすと信じ、夢をふくらませる毎日です。

#### ■ 今後の事業展開

世界共通のキーワードは、“サステナブル(持続可能な)”。貴重な自然や文化が失われたら、沖縄の未来はありません。私たちはこれからも、各地で地元の人たちとシマの宝を探し、大切に活かすことで、暮らしと心が豊かになるお手伝いをしていきます。

(レポート:企画部長 具志堅 勇)